

2022年上半期
(2022年1月-6月)

宿泊業の倒産状況

2022年7月8日
プレスリリース

倒産概況

2022年上半期（1-6月） 宿泊業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	41 件	148億9,500万円
前年同期比	▲ 4.65%	▲ 87.55%
2021年上半期	43 件	1,197億2,700万円
前期比	▲ 4.65%	▲ 25.04%
2021年下半期	43 件	198億7,300万円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合先：経済研究室
電 話：03(6910)3157

倒産件数は2年ぶりに前年を下回る、新型コロナ関連倒産が6割

2022年上半期（1-6月）の宿泊業の倒産は、件数が41件（前年同期比4.6%減）で、2年連続で前年同期を下回った。2020年上半期は、コロナ禍の急激な情勢変化により、倒産件数は72件と、過去20年で2番目の規模まで増加した。その後は、金融機関等による資金繰り支援策などにより、2021年同期は43件と前年同期比40.2%まで減少した。2022年同期は小康状態を維持するものの、コロナ禍の長期化で宿泊業の倒産は予断を許さない状況が続く。

負債総額は148億9,500万円（同87.5%減）で、2年ぶりに前年同期を下回った。前年同期は14年ぶりとなる負債1,000億円超の大型倒産が発生し、その反動で負債を押し下げた。

コロナ関連倒産は27件で、前年同期から5件増加した。全体の6割（構成比65.8%）を占め、前年同期から14.7ポイント上昇した。

宿泊業の倒産 月次推移

（負債総額単位：百万円）

年 月	2019(令和1)年		2020(令和2)年		2021(令和3)年		2022(令和4)年	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
1月	9	51,329	10	3,015	9	4,100	4	1,264
2月	8	2,072	5	2,128	8	829	3	2,472
3月	5	230	6	1,429	13	9,916	8	4,815
4月	2	3,568	25	17,985	3	1,916	11	2,513
5月	4	940	10	8,215	7	102,229	8	2,044
6月	2	270	16	10,152	3	737	7	1,787
7月	9	1,668	7	1,112	6	609		
8月	4	651	4	2,900	14	7,520		
9月	7	797	9	3,001	7	2,354		
10月	8	3,101	13	5,887	8	8,543		
11月	12	18,366	8	1,593	4	609		
12月	5	43,135	5	595	4	238		
年計	75	126,127	118	58,012	86	139,600	41	14,895

各種動向

原因別では、「販売不振」が前年同期と同数の34件で、全体の8割（構成比82.9%）を占めた。次いで、「既往のシワ寄せ」が6件（前年同期比100.0%増）、「設備投資過大」が各1件（同50.0%減）だった。

形態別では、破産が29件（前年同期比14.7%減）で、全体の7割（構成比70.7%）を占めた。次いで、特別清算が10件（同24.3%）で続き、「消滅型倒産」は39件と、9割超（同95.1%）を占めた。一方、「再建型」は民事再生法の2件にとどまった。

資本金別では、1千万円以上5千万円未満が15件（構成比36.5%）で最多。次いで、1百万円以上5百万円未満が10件（同24.3%）、5百万円以上1千万円未満が9件（同21.9%）を占めた。前年同期に1件発生した1億円以上はゼロだった。

負債額別では、1億円以上5億円未満が20件（前年同期20件、構成比48.7%）で最多。1千万円以上5千万円未満が7件（同30.0%減、構成比17.0%）、5千万円以上1億円未満が6件（同50.0%増、構成比14.6%）の順。10億円以上は4件（同33.3%減、構成比9.7%）で、前年から2件減少した。

従業員数別では、5人未満が25件で6割（構成比60.9%）を占めた。前年同期に4件発生した50人以上の倒産はゼロだった。

地区別では、増加が2地区、減少が5地区、同数が2地区。関東12件（前年同期13件）が最多で、九州8件（同5件）、中部5件（同7件）、近畿（同5件）と東北（同4件）が各4件で続いた。

主な倒産事例・今後の見通し

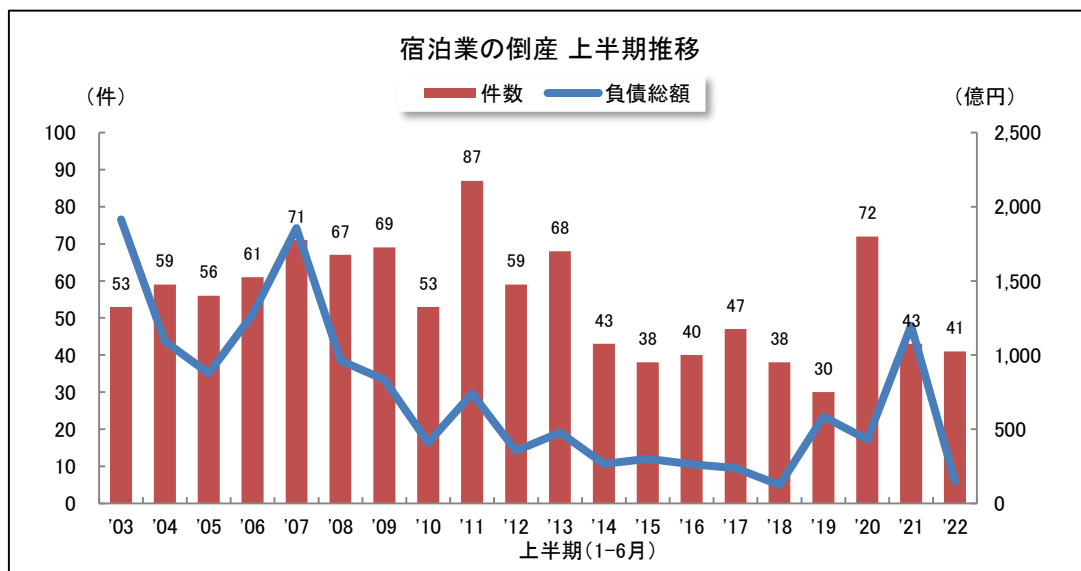
◇（株）山一観光（TSR企業コード：890073562、法人番号：9320001010197、大分県）は大分地裁日田支部から破産開始決定を受けた。日田市天ヶ瀬温泉で観光ホテル「みるき〜すばサンビレッジ」を経営していた。天ヶ瀬温泉中心部からやや離れた高台に立地し、7階建て客室棟のほか、別棟もある大型施設で、プールや100畳を超える大宴会場も3カ所擁し、複数の団体客に対応していた。ピーク時の1997年4月期には売上高約8億円をあげていたが、その後は宿泊客の減少に伴い、売上高は2億円台まで落ち込み、赤字も散見されていた。

2020年春以降は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一時は休業を余儀なくされたほか、「令和2年7月豪雨」による玖珠川の氾濫で、周辺の幹線道路や施設に甚大な被害が発生し、天ヶ瀬温泉への観光客も急減。2021年4月期には売上高約7,000万円まで減少し、長引くコロナ禍で観光需要の回復も見込めず、事業継続を断念した。負債総額は23億5,100万円。

【今後の見通し】

2022年上半期（1～6月）の宿泊業の倒産は前年同期比4.6%減と微減で推移した。政府や金融機関による金融支援が、倒産を抑制している。2022年3月にはまん延防止等重点措置が全国で解除となったものの、6月下旬から再び感染者数は増加に転じていて、7月上旬に予定されていた全国旅行支援の開始が延期された。そのため、地方やリゾート地などに向けた“遠出需要”や“ファミリー需要”の落ち込みも懸念される。東京商工リサーチによる全国宿泊業の業績調査では、コロナ前の2019年から2021年にかけて、売上高は約2兆円（1兆8,213億9,000万円）消失した。当面、抜本的な宿泊事業者の復調施策が見込めないなか、企業倒産は再び増勢に転じる可能性も高まっている。

上半期推移



宿泊業の倒産 上半期推移

上半期(1-6月)	件数		負債総額		平均 負債額
	(件)	前年比	(百万円)	前年比	
2003年上半期	53	-	191,427	-	3,611
2004年上半期	59	11.32%	109,249	▲42.92%	1,851
2005年上半期	56	▲5.08%	87,698	▲19.72%	1,566
2006年上半期	61	8.92%	127,451	45.32%	2,089
2007年上半期	71	16.39%	185,630	45.64%	2,614
2008年上半期	67	▲5.63%	96,318	▲48.11%	1,437
2009年上半期	69	2.98%	83,421	▲13.39%	1,209
2010年上半期	53	▲23.18%	40,775	▲51.12%	769
2011年上半期	87	64.15%	74,115	81.76%	851
2012年上半期	59	▲32.18%	35,443	▲52.17%	600
2013年上半期	68	15.25%	47,789	34.83%	702
2014年上半期	43	▲36.76%	26,571	▲44.39%	617
2015年上半期	38	▲11.62%	30,109	13.31%	792
2016年上半期	40	5.26%	26,241	▲12.84%	656
2017年上半期	47	17.50%	23,689	▲9.72%	504
2018年上半期	38	▲19.14%	12,276	▲48.17%	323
2019年上半期	30	▲21.05%	58,409	375.79%	1,946
2020年上半期	72	140.00%	42,924	▲26.51%	596
2021年上半期	43	▲40.27%	119,727	178.92%	2,784
2022年上半期	41	▲4.65%	14,895	▲87.55%	363

2022年上半期宿泊業 原因別倒産状況

主因	明細	件数				負債総額(百万円)			
		当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
放漫経営	事業上の失敗	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	42
	事業外の失敗	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
	融手操作	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
	(小計)	(0)	(0.00%)	(▲100.00%)	(1)	(0)	(0.00%)	(▲100.00%)	(42)
過小資本	運転資金の欠乏	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
	金利負担の増加	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
	(小計)	(0)	(0.00%)	－	(0)	(0)	(0.00%)	－	(0)
他社倒産の余波		0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	436
既往のシワ寄せ	①赤字累積	6	14.63%	100.00%	3	1,551	10.41%	▲98.46%	101,203
信用性低下	取引先の打切り	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
販売不振	②	34	82.92%	0.00%	34	12,694	85.22%	▲15.08%	14,949
売掛金等回収難	③	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
在庫状態悪化		0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
設備投資過大		1	2.43%	▲50.00%	2	650	4.36%	▲68.75%	2,080
その他	偶発的原因	0	0.00%	▲100.00%	2	0	0.00%	▲100.00%	1,017
合計		41	100.00%	▲4.65%	43	14,895	100.00%	▲87.55%	119,727
不況型倒産(①+②+③)		40	97.56%	8.10%	37	14,245	95.63%	▲87.73%	116,152

2022年上半期宿泊業 地区別倒産状況

地区	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
北海道	2	4.87%	▲33.33%	3	440	2.95%	▲27.03%	603
東北	4	9.75%	0.00%	4	669	4.49%	92.24%	348
関東	12	29.26%	▲7.69%	13	4,026	27.02%	▲96.19%	105,850
中部	5	12.19%	▲28.57%	7	1,135	7.62%	▲68.73%	3,630
北陸	1	2.43%	0.00%	1	91	0.61%	468.75%	16
近畿	4	9.75%	▲20.00%	5	720	4.83%	▲60.56%	1,826
中国	2	4.87%	▲60.00%	5	585	3.92%	▲79.73%	2,887
四国	3	7.31%	－	0	2,614	17.54%	－	0
九州	8	19.51%	60.00%	5	4,615	30.98%	1.05%	4,567
合計	41	100%	▲4.65%	43	14,895	100%	▲87.55%	119,727

2022年上半期 主な「宿泊業」の倒産

企業コード	商号	所在地	資本金 (千円)	負債額 (百万円)	倒産原因	倒産形態
890073562	(株)山一観光	大分県	10,000	2,351	販売不振	破産
840093381	偕楽園観光(株)	徳島県	54,000	2,300	販売不振	破産
200190474	(株)松島	新潟県	10,000	1,100	販売不振	破産
340125241	(株)湯村ホテル	山梨県	13,000	1,100	販売不振	民事再生法
291360629	(株)橘	東京都	10,000	694	販売不振	破産
295317590	エバーランド(株)	福岡県	90,000	650	設備投資過大	特別清算
870581929	(株)ティージーエイチ	長崎県	95,000	600	販売不振	特別清算
770058850	(有)枕水館	山口県	6,000	500	販売不振	破産
942102550	(有)ホテル桂荘	鹿児島県	3,000	432	既往のシワ寄せ	破産
360308813	(有)照本	神奈川県	8,000	400	販売不振	破産

2022年上半期宿泊業 形態別倒産状況

形態	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
会社更生法	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
民事再生法	2	4.87%	▲33.33%	3	1,200	8.05%	▲78.90%	5,688
(再建型)	(2)	(4.87%)	(▲33.33%)	(3)	(1,200)	(8.05%)	(▲78.90%)	(5,688)
破産	29	70.73%	▲14.70%	34	10,799	72.50%	▲3.13%	11,149
特別清算	10	24.39%	66.66%	6	2,896	19.44%	▲97.18%	102,890
(消滅型)	(39)	(95.12%)	(▲2.50%)	(40)	(13,695)	(91.94%)	(▲87.99%)	(114,039)
法的倒産	41	100.00%	▲4.65%	43	14,895	100.00%	▲87.55%	119,727
取引停止処分	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
内整理	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
私的倒産	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
合計	41	100%	▲4.65%	43	14,895	100%	▲87.55%	119,727

2022年上半期宿泊業 資本金別倒産状況

資本金	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
1億円以上	0	0.00%	▲100.00%	1	0	0.00%	▲100.00%	267
5千万円以上	5	12.19%	0.00%	5	3,850	25.84%	▲6.77%	4,130
1千万円以上	15	36.58%	▲6.25%	16	7,691	51.63%	▲92.95%	109,124
5百万円以上	9	21.95%	80.00%	5	1,724	11.57%	▲58.40%	4,145
1百万円以上	10	24.39%	▲9.09%	11	1,608	10.79%	13.63%	1,415
1百万円未満	1	2.43%	0.00%	1	12	0.08%	20.00%	10
個人企業他	1	2.43%	▲75.00%	4	10	0.06%	▲98.42%	636
合計	41	100%	▲4.65%	43	14,895	100%	▲87.55%	119,727

2022年上半期宿泊業 負債額別倒産状況

負債額	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
10億円以上	4	9.75%	▲33.33%	6	6,851	45.99%	▲93.91%	112,573
5億円以上	4	9.75%	33.33%	3	2,444	16.40%	8.57%	2,251
1億円以上	20	48.78%	0.00%	20	5,018	33.68%	14.77%	4,372
5千万円以上	6	14.63%	50.00%	4	406	2.72%	40.00%	290
1千万円以上	7	17.07%	▲30.00%	10	176	1.18%	▲26.97%	241
合計	41	100%	▲4.65%	43	14,895	100%	▲87.55%	119,727

2022年上半期宿泊業 従業員数別倒産状況

従業員数	件数				負債総額(百万円)			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
300人以上	0	0.00%	－	0	0	0.00%	－	0
50～299人	0	0.00%	▲100.00%	4	0	0.00%	▲100.00%	8,604
20～49人	5	12.19%	66.66%	3	7,045	47.29%	267.50%	1,917
10～19人	3	7.31%	▲25.00%	4	781	5.24%	▲6.91%	839
5～9人	8	19.51%	33.33%	6	1,607	10.78%	3.74%	1,549
～4人	25	60.97%	▲3.84%	26	5,462	36.67%	▲94.88%	106,818
合計	41	100%	▲4.65%	43	14,895	100%	▲87.55%	119,727

倒産概況

2022（令和4）年6月度 宿泊業の倒産

（負債額1,000万円以上の企業倒産）

	倒産件数	負債総額
	7 件	17億8,700万円
前年同月比	+ 133.33%	+ 142.46%
2021年6月	3 件	7億3,700万円
前月比	▲ 12.50%	▲ 12.57%
2022年5月	8 件	20億4,400万円

※TSRの倒産集計は、1952年の集計開始以来、法的倒産と私的倒産を含む

問合せ先：経済研究室
電 話：03(6910)3157

倒産件数が3カ月連続で前年比増 負債は2カ月ぶりに前年を上回る

2022年6月の宿泊業倒産は件数が7件（前年同月比133.3%増）で、3カ月連続で前年同月を上回った。

負債総額は17億8,700万円（同142.4%増）で、2カ月ぶりに前年同月を上回った。負債1億円以上の倒産が6件（前年同月2件）発生したほか、倒産件数の増加が全体の負債を押し上げた。

形態別では、破産が6件（前年同月1件）、特別清算が1件（同2件）で、すべて「消滅型」倒産だった。

地区別では、最多が関東の3件（前年同月1件）。次いで、九州2件（同ゼロ）が続いた。宿泊業倒産7件のうち、「新型コロナウイルス」関連倒産は5件（構成比71.4%）だった。

